



シンボルマーク

シルバー おやべ

第 45 号
平成31年 1 月 10 日

公益社団法人
小矢部市シルバー人材センター
〒932-0826
小矢部市茄子島211番地
TEL (0766) 67-4804
FAX (0766) 67-5515
HP <http://oyabe-sjc.jp/>



謹賀新年
己亥元旦
つちのとし

会員数 …… 363 名

男性 219 名 女性 144 名

【平成 30 年 12 月 31 日現在】

伊勢神宮 宇治橋 / 「謹賀新年」書: 会員 五郎丸尚三(松沢地区)

平成30年度 安全就業スローガン

安全就業、それは毎日の健康管理から 心身共に穏やかに!!

シルバー人材センターは、

「自主・自立、共働・共助」

を理念とし、会員自らが運営に参画する組織です。



地域貢献の充実と魅力ある シルバーを目指し、一層の飛躍を！

理事長 柴田 敏秋

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も元気で就業いただき、「健康づくり」、「地域貢献」、「生きがいづくり」にご活躍されますようご期待申し上げます。

当センターの会員に就業の場を提供いただいている皆様には、お礼とともに、謹んで新年のご健康、ご繁栄、ご多幸を念じ申し上げます。

今年、己亥（つちのとい）の年であります。己亥年は、内部の充実を図り、次のステージに向けて準備する年とも言われております。

当センターでは、現在、一層の飛躍を目指し、第二次中長期計画を策定中であります。当センターを取り巻く環境が大きく変わろうとしている中で、会員の皆様と事務局がお互いに知恵を出し合いながら、

①フルタイム雇用でなく、「臨時的・短期的・軽易な業務」を希望される「働く意欲のある六十歳以上の高齢者」には、一人でも多く「会員」として入会いただき、「生きがい就業」をしていただくこと。

②入会していただく会員の多様な「生きがい」

と「地域のニーズ」を結ぶことができるよう、「就業機会」を拡大し、多様化すること。

③全ての就業の前提として、会員(高齢者)にとって危険・有害な業務は避けるとともに「安全就業」と「適正就業」を進めること。

④公益社団法人としての公益性を維持しながら、「シルバー事業の持続性」を確保するため、財政基盤の強化と組織の活性化の方向性を見定めるとともに、当センターの地域におけるイメージアップや高齢者にとっての魅力向上を進めること。

を重点に取り組んでまいります。

魅力あるシルバー、地域貢献を高め地域に存在感のあるシルバーを目指し、関係者一丸となって取り組む考えであります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます

- 理事長 柴田 敏秋
- 副理事長 村上 保英
- 専務理事 佐野 隆
- 理事 山田 博章
- 理事 鳩沢 修一
- 理事 五反田 範子
- 理事 中村 利夫
- 理事 松本 彦次
- 理事 高西 久文
- 理事 本田 昭記
- 理事 山口 善嗣
- 理事 忠田 勉
- 理事 山田 操
- 理事 高田 千里
- 理事 金岡 亨子
- 監事 山田 富雄
- 事務局職員一同



ごあいさつ

小矢部市長

桜井 森夫

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健康やかに平成三十一年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には日頃より、市政発展に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、施設管理等行政サービスの一翼を担っていただいておりますことにも深く感謝申し上げます。

さて、シルバー人材センターには、就業機会の提供やボランティア活動などの様々な社会参加活動を通じ、本市における高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上や活性化に多大なるご貢献をいただいているところであります。

近年は、介護予防・生活支援サービス事業や空き家サポートサービスも提供され、市民生活においても大変利便性の高い取り組みを展開されております。

空き家については本市においても、今日的な課題の一つであります。

その主因は人口減少の問題にあります。人口減少対策につきましても、本年からの十年間を見据えた第七次小矢部市総合計画におきましても、子育て支援や定住助成制度といった形で、一定の人口を確保するための施策として盛り込んでおります。

一方、本計画では、人口減少の時代においては高齢者の活躍が不可欠であるとも位置付けております。豊富な知識と経験を活かし、社会を支える一員として多様な形で社会参加いただくことが求められており、そうしたことから、貴センターの担う役割は、今後より一層重要になってくるものと考えております。

本市が総合計画で掲げる「魅力・安心・充実 しあわせ おやべ」の実現のため、皆様方には、どうぞ、本年もご尽力を賜りますようよろしくお願いいたします。

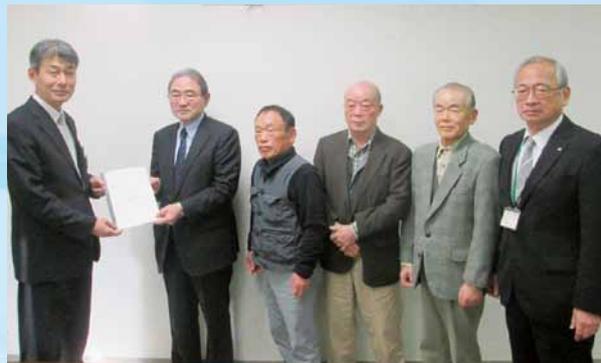
結びに、貴センターのさらなる飛躍と、会員の皆様の今後益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

小矢部市等への支援要請について

平成30年11月2日、小矢部市長桜井森夫様及び小矢部市議会議長福島正力様、副議長藤本雅明様へ平成31年度要望を行いました。

柴田理事長、村上副理事長、佐野専務理事兼事務局長が要望しました。要望内容は、運営・事業費補助金の予算要望等です。

また、平成30年12月20日、小矢部園芸高等学校長大崎武治様へ、専攻科生徒の皆様にシルバー会員の入会・就業を勧めていただくよう要望いたしました。これは、剪定・雪吊り作業に就業する会員確保のために実施いたしました。柴田理事長、業務委員会委員、佐野専務理事兼事務局長が要望いたしました。



先進地視察について

平成30年10月25日、柴田理事長以下34名は福井県坂井市の（公社）坂井市シルバー人材センター（坂井市SC）を視察しました。坂井市SCでは、五十嵐理事長、向川事務局長（常務理事）、多田課長、内江課長補佐に対応していただきました。

坂井市は、坂井郡の三国町・丸岡町・春江町・坂井町の4町による合併で誕生し、名勝「東尋坊」や「丸岡城」等、豊富な観光資源を有しています。

坂井市SCは、会員数は1千名を超えながらも高い就業率（90%以上）を維持しています。また、剪定クズチップ化リサイクル事業、リサイクルショップ「和くなくみく」、英会話教室直売市（わくわくショップ）事業等の独自事業が充実したセンターです。

視察では、それぞれの独自事業について、事業化の経緯や現状等について詳細に説明していただきました。

意見交換・質疑の場では、坂井市SCの高い就業率について、独自事業化のきっかけ等についての説明があり、当センターでの就業率向上や独自事業の事業化の際に参考となるものでした。

視察後、建物の一角にあるリサイクルショップを実際に目にして、会員自らが自主的に取り組む独自事業について考える良い機会となったことと思います。



視察風景



リサイクルショップ
和～なごみ～

「おやべ元気フェスティバル2018」に参加して

「おやべ元気フェスティバル2018」が、平成30年10月6日(土)クロスランドおやべにて開催されました。幸い天候にも恵まれ、沢山の来場者があり、嬉しいかぎりでした。

会場では、市の特産品コーナー、血圧・骨密度・体重等の健康測定コーナー、子供たちによるステージ発表、木工や手芸品等の各種教室の展示コーナーがあり、シルバー事業の紹介コーナーがありました。

シルバー事業の紹介コーナーでは、シルバー人材センター事業や活動紹介のための写真展示や、「介護予防・生活支援サービス事業」「空き家サポートサービス事業」の各事業紹介チラシと「シルバー会員募集」のチラシを配布しました。



講習会の開催について

平成30年12月7日、小矢部市農村環境改善センターにおいて、小矢部市内で生産されている農業特産物についての関心を高め、生産・加工・販売への就業につなげようと、根菜「ヤーコン」料理講習会を開催しました。

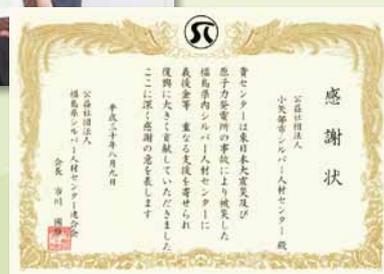
いなばヤーコン倶楽部の松井秀明会長による講義に続いて、JAいなば女性部水島支部のメンバーの指導を受け、会員達はヤーコンを使った炊き込みご飯やかき揚げ、ヨーグルトサラダ等を調理しました。



福島県シルバー人材センター連合会からの感謝状贈呈について

平成30年8月9日、公益社団法人福島県シルバー人材センター連合会(以下、「福島県シ連」という。)専務理事兼事務局長の佐藤義住様が来訪され、東日本大震災及び原子力発電所事故後、継続して義援金を贈ってきたことに対して、福島県シ連から感謝状をいただきました。

義援金については、福島県シ連を通して拠点シルバーの方へお渡ししていただいていた。近年、特に南双地域シルバー人材センターにつきましては、住民が順次帰還しており、事務所を避難指示地域外で再開し、業務を行っているとのこと。





平成30年
10月10日

(交通安全講習会)

平成30年10月10日、小矢部市農村環境改善センターにおいて、小矢部警察署交通課野手孝法氏を迎え、交通安全講習が行われました。

今年度の小矢部市内の事故状況や高齢者の交通安全について説明がありました。



(ボランティア活動)

交通安全講習会の後、会員及び役職員を含めて約100名がボランティア活動に参加しました。昨年と同様に会場となった農村改善センター敷地内とクロスランドおやべのパターゴルフ場内に加え、今年度は総合保健福祉センター周辺の清掃活動を行いました。



(会員のつどい)

ボランティア活動の後、農村環境改善センター内の和室では、会員互助会によりお弁当が振る舞われました。日頃、会員同士で交流する機会があまりない中、それぞれに他地区、他職種の方たちと一緒に食事をしながら楽しい交流の場となりました。

また、会員が持ち寄った野菜や手工芸品などでチャリティーバザーを開催しましたところ、収益金は52,228円となりました。収益金は西日本豪雨で被災された岡山県の倉敷市シルバー人材センターへ義援金として送られました。ご協力いただきました会員の皆様には、厚くお礼申し上げます。



互助会だより

会員研修 十月二十五日(木)～二十六日(金)
伊勢志摩周遊の旅

水島地区 森谷奈利子



昨年は、九月、十月に入ってから、全国各地で大きな台風等の災害に見舞われ、大変な思いをされたことと思います。
私たち三十四名は、天候に恵まれ、研修先の福井県「坂井市シルバー人材センター」へと向かいました。こちらでは「剪定クズのリサイクル」剪定クズチップ化、「直売市」家庭で栽培された物を販売、「英会話教室」経験のある会員が講師、「ミシン倶楽部」布や衣服をリフォームし販売、リサイクルショップ、その他色々な活動をしてもらえ、丁寧なご説明と会員の熱心な質問等での予定の時間も過ぎる程でした。



研修を終え、中山道の宿場町「醒井(滋賀県米原市)」で昼食をとりました。徒歩一〇分程の所には川が流れ、湧き水だという事です。本当に清く澄んだ川で、「梅花藻」の白く愛らしい小さな花が咲き誇っていました。幼少の頃、母が水面を覆っている笹の葉をかき分け、両手で湧き水を飲ませてくれたのを思い出しました。

お伊勢参りの前に参拝するという「二見興玉神社」、夫婦岩があり、海中七〇〇メートルには神石、神使は「蛙」であるという事でした。こちらには、丸い注連縄(荒縄で編んだもの)が置かれ、痛いところを撫でればよいとの事。皆さん買い求めておられました。二日目、カーテン越しに明るく目覚めると、まん丸なお月様。部屋から外に出て、お月様を眺めながら早朝の新鮮な空気を吸って気持ちよく部屋に戻りました。朝風呂から出ましたら、皆さんが煌々と輝く、眩しい程の日の出を、皆さんと一緒に拝ませてくださいました。

お伊勢参りは「外宮(豊受大神宮)」からという事で、衣食住をはじめ、産業の守り神である「豊受大神宮」をお参りしてある「外宮」を参拝しました。その後、皇室のご先祖、「天照大神」をお参りする「内宮(皇大神宮)」へ。宇治橋を渡り、五十鈴川御手洗場で心身を清め、お神楽を拝見させていただきました。ご祈禱していただきました。会員の皆さんの中には、お伊勢参りは初めてという方もいらっしゃいました。
中山道散策の時に飲んでみたくなるような川の湧き水、早朝のお月様煌々と輝く日出、お伊勢参り、参加会員の笑顔、参加できました事を嬉しく思います。本当に心に残る思い出の旅でした。

「そば打ち体験会」を開催しました。

12月2日(日)に宮島そば打ち道場で「そば打ち体験会」を開催しました。今回は26名の参加で、新そばの香りと笑顔が溢れる楽しいひとときとなりました。



同好会だより



そば打ち同好会 会員募集

このたび会員互助会では「そば打ち同好会」を発足しました。

会員の中で「そば打ち」ができる方はもちろんのこと「打ってみたい」、「習ってみたい」という方、そばを通してシルバー会員相互の親睦を図りながら楽しく美味しいそばを打ってみませんか？

- ① そば打ち道場開催日
 - ・ 毎月第3日曜日 (年4～5回程度)
 - ・ 開催時間 10時～13時
(イベント等が重複した場合はお休みになることがあります。)
- ② 場所 そば打ち道場(旧J Aいなば宮島支所)
- ③ 会費 1回 1,300円
- ④ 入会の申込み・問い合わせ先
小矢部市シルバー人材センター事務局まで
☎ 67-4804

安全管理委員会だより

事故ゼロを目指して!



明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはお健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて当安全管理委員会では「安全はすべてに優先する」をモットーに事故ゼロを目指し、安全パトロールの強化、当SCスローガン「安全就業、それは毎日の健康管理から 心身共に穏やかに」を基に就業前の健康チェックに重点的に取り組んでいます。

昨年8月20日(公社)富山県シルバー人材センター連合会 齊藤指導員のもと安全就業特別パトロールを連合会より会長以下4名、当SCより理事長以下4名の8名で実施しました。機械刈り、剪定等、2カ所の注意喚起なされた点を会員の方と話し合いをして対応、大変有意義なパトロールでした。

今年度(4月~11月末時点)の事故発生は4件。

草刈中の飛び石による賠償事故が3件、清掃作業中の傷害事故が1件となっております。

基本ルールを守って、安全確認(指差し呼称)を実行することで事故を未然に防ぐことが出来ます。

会員の皆様には、指差し呼称等の危険予知作業によって、事故再発防止につなげていただき、一人ひとりが安全意識を高め、事故の無いシルバーセンターになる様、これからも啓発していきたいと考えています。

最後になりますが、会員の皆様におかれましては安全就業を通して、今年1年のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

安全管理委員会 委員長 中村 利夫

平成30年度の活動実績

平成30年 8月20日

○安全就業特別パトロール

平成30年10月10日(シルバーの日)

○交通安全講習会

「高齢者の交通安全」について 小矢部警察署 交通課 野手 様

ほのぼののコーナー

ラージボール卓球を楽しく続けています!

子撫地区 山田 操 会員

最初は、卓球はした事もなく、ズブの素人でした。定年を迎えた時に、体力維持と時間つぶしの為に始めました。シルバー会員になっても、仕事と両立して「少しは上手になりたい」という欲も出て、無理せずに続けています。

ラージボールは、卓球の白いボールより一回り大きくて、色もオレンジ色をしており、年配者向けなのです。それに、見た目より体力と頭を使うので、認知症予防にもなっているかと思えます。勝負を気にせず、楽しく、ストレス発散にもなります。

小矢部市文化スポーツセンターで、毎週金曜日の午後、練習しております。60代、70代の方が沢山来ております。

会員の皆様の中で「やってみようか」と思われた方、大歓迎ですよ!是非一緒にプレーしましょう!!



お知らせ



地区懇談会

とき 2月中旬から
場所 各地区

安全就業講習会

とき 3月8日(金)
午後2時~
場所 クロスランドおやべ
セレナホール

※詳細が決まりましたら、あらためてお知らせいたします。

あとかぎ



皆様と共に新しい年を迎えられました事、深く感謝致しております。本年もどうぞ宜しくお願いします。

さて、会報「シルバーおやべ」が平成4年に発行され、今回の第45号が「平成」での最後の発行となりました。平成を振り返ると、平成元年に消費税(3%)が導入され、5%、8%と、税率が引き上げられ、今年10月には消費税率が10%となるこの事です。

平成4年に新幹線「のぞみ」の運転開始、平成27年には北陸新幹線(東京・金沢間)が開通しました。

また、忘れてならないのが、平成7年の「阪神淡路大震災」、平成23年の東日本大震災です。幸い、小矢部市では、近年おもだった災害にはあつておりませんが、「地震大国日本」と言われるだけあつて油断は禁物。異常気象による大水害等についても、避難方法の確認等、しっかりと備えておきたいものです。

これから一段と寒さが厳しくなります。風邪などひかめよう、元気に楽しく過ごしましょう。

広報委員会 委員長 松本 彦次